

- 1 派遣期日 令和元年11月18日（月）
 2 研修先 学校名（会場名） 大田区立田園調布小学校
 所在地 東京都大田区田園調布2-31-16
<http://academic2.plala.or.jp/dncfe/>

3 研修内容

（1）視察校における研究への取り組み

研究主題
『かかわり合いで学びを深める』～意図を明確にした協働的学習を通して～

① 研究主題について

本校では、豊かな個性をもつ友達同士がかかわり合い、高め合えるようにするために、協働的学習に必要な児童にとっての3要素（『コミュニケーション力』、『思考力・表現力』、『再構成力』）を明らかにし、その育成のために、意図を明確にした協働的学習を効果的に授業に取り入れる必要があると考えた。また、児童一人一人に、友達のよさや新しい気付きを実感させることを通して、より豊かな人間関係を育み、学びの深まりを実感させることで目指す児童像に迫りたいと考え、研究主題を「『かかわり合いで学びを深める』～意図を明確にした協働的学習を通して～」と設定し、平成30年度から大田区教育委員会の教育研究推進校として研究を進めてきている。

② 意図を明確にした協働的学習

より効果的な協働的学習にするために、教師が協働的学習の意図を明確にもつとともに、児童にも「何のために、どのような話し合いを行うのか」を示す。

本校では、学びを深めるための対話のねらいを、次の5つに整理した。（協働5種）

協働的学習	学習の意図	具体的場面の例
決める	学習課題 課題の解決方法 役割分担	練習方法を選んだり、作戦を立てたりする。 学習計画を立てる。役割分担をする。 適切な解決方法を決める。教材から考えたいことを決める。
つくる	協働制作 協働演技 起案・企画	アイデアを出し合い、1つの作品をつくり上げる。 現状から新たな課題をつくり出す。
見付ける	共通点・相違点を見付ける 考えを関連付ける 考えのよさに気付く こつやポイントを発見する	書き方の工夫を見付ける。（国語科） 異なる時代の様子を比べて、変化を発見する。（社会科） 考え方にネーミングをすることで、特徴をつかむ。（算数科） 動きを見比べて、技能のポイントを発見する。（体育科）
広げる	新しい方法を知る 視野や視点を広げる 批判的に考える	自分とは異なる解決方法や表現の仕方を見付ける。 異なった視点から考え方を見直す。 考察したことを比較する。想像したことや感想を交流し合う。 教材の登場人物の心情を通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。（道徳科） 会話を広げる。（外国語）
まとめる	考えを一般化する 結論を出す 論点を整理する	法則やよまりを発見する。結論を導く。 合意形成をする。（学級活動） 動きのポイントをまとめる。（体育科）

③ 3要素について

協働的学習に必要な3要素（コミュニケーション力、思考力・表現力・再構成力）を育てる具体的な取り組みを、一例ずつ紹介する。

ア コミュニケーション力…聞き方名人・話し方名人・話し合い名人

コミュニケーション能力の素地を育成するために、聞き方や話し方の基本的な視点を各学級に掲示した。日々の学習に取り入れることで、児童は話すときや聞くときに大切なことがわかり、よりスムーズに話し合いが行えるようになってきた。

イ 思考力・表現力…友達の考えを代わりに発表する

例えば、算数の時間に「 5×4 」と一人が式だけで表現したものを発表し、他の児童がその式を読み取り、どのように考えたのかを考えさせる。これにより、他者の考えを理解するとともに、問いに対して自らの思考を深めることもできた。

ウ 再構成力…短冊・付箋の活用

短冊は、全体での話し合いでそれぞれの考えを可視化することをねらいとして活用した。付箋は、友達からの助言内容や自分の気付きを、必要に応じて並び替えたり、取捨選択したりすることで、考えを整理することに役に立った。

聞き方名人	話し方名人
反応して	目的に合わせて
相手の思いを認め	聞き手の反応を見ながら
良さを認めながら	言葉を選び
話し手の意図を考え	よく聞こえる声で
自分の考えと比べて	最後まで
聞こう	話そう

話し合い名人
ごんぎ言葉をつかってみよう
1. もう少しくわしく教えてください。
2. ○○さんは どう思いますか。
3. どこで そう考えましたか。
4. たとえば どんなことですか。
5. もう一度 考えてみよう。
6. ほかに は ありますか。
7. どんなことでも いいですよ。

(2) 視察校における授業の実際

第4学年 理科「もののあたたまり方」

- ① 4年1組では、水を加熱すると、どのようにあたたまるのかを予想する授業が行われた。初めに、自分の予想をワークシートに記入した後、小グループに分かれて意見交換を行い、予想を発表用のワークシートに記入した。発表の場面では、掲示したワークシートについて、児童の発表やその後の意見交換を交えながら、実験の予想をまとめていくことができた。『広げる』という協働的学習の意図に沿って、終始主体的な活動が行われていた。
- ② 4年2組では、前時の予想をもとに、水を加熱したときの熱の広がり方を調べる実験を行い、水の温まり方を考察する授業が行われた。理科室では、4人のグループに2台のパソコンが割り当てられていた。児童は実験中の様子を撮影するだけでなく、2台のパソコンで2つの動画を同時に動かして見比べるなど、結果をより詳しく整理しようと活発に話し合っていた。『まとめる』協働的学習の意図の通り、主体的によりよい答えに向かう姿が見られた。

聞き方名人・話し方名人・話し合い名人



動画を何度も見返し、気付いたことがあるとすぐにグループの友達に意見を求める

4 感想

すべての教室に聞き方名人・話し方名人・話し合い名人の掲示があった。「何と云えばいいのか」が分かるだけでなく、「聞き方・話し方の基本的な観点」まで書かれていることに驚いた。児童に聞くことや話すことの大切さを伝え、話し合い活動が丁寧に行えるように、教師も指導に当たっていかなければならない、と身の引き締まる思いがした。掲示物は、児童だけが見るだけでなく、教師も見学するものになっており、児童も教師も学ぶ学校としての一体感を感じることができた。

話し合いの時間では、意見が出れば出るほど、児童の間で納得の声が聞かれるようになった。話し合いを通して、考えが整理され、よりよい「自分の答え」が作られていく様子に驚いた。研究実践を始めるまでの下準備の段階で、何度も試行錯誤が行われていたのではないだろうか。協働を生み出すための話し合いのルールが、教師側、児童側のどちらでもきちんと整理されていた上で、授業実践に取り組んだのだらうと、その授業研究の丁寧さを感じた。

今回の研修を通して、大変素晴らしい実践を参観することができた。今回の研修で得られた内容を、今後の自分の授業にも少しずつ生かしていきたいと感じた。